

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 80代	糖尿病 (脳梗塞, 胃 炎)	7.5mg 35日間	間質性肺炎	
				既往歴：腎癌術後 4年以上前より，糖尿病用薬を服用中。	
			15mg 102日間	投与開始日	メトホルミン塩酸塩に代え，本剤（7.5mg/日）投与開始。
				投与36日目	本剤増量（15mg/日）。
				投与97日目	両下肺野に crackle が増加したが，無症状のためそのまま経過観察。
				投与105日目	腹部CTにて下肺野に陰影を認めたが，無症状のためそれ以上の精査はされず。
				投与132日目	咳嗽の訴えが始まる。
				投与133日目	歩行直後の SpO2 89%（低酸素血症）。胸部X線で両下肺野の volume loss と opacity 上昇を認める。 胸部CTの結果，間質性肺炎を認める。 その後，呼吸困難を認める。
				投与134日目	プレドニゾン（25mg/日）経口投与開始。
				投与137日目 (投与中止日)	本剤投与中止。
				中止1日後	血糖上昇のため，インスリン開始。
				中止4日後	咳嗽，crackle は改善傾向。
				中止25日後	プレドニゾン（15mg/日），グリベンクラミド減量。
				中止36日後	悪寒，高熱を認め，セフジニル投与開始。
中止39日後	高熱が再発し，入院（尿路感染疑い）。 入院中の画像診断でも間質影は改善傾向。				
中止53日後	退院。				
中止81日後	リンパ球刺激試験の結果，本剤は陰性。				
併用薬：グリベンクラミド，ボグリボース，アスピリン，ファモチジン					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 50代	インスリン非依存型糖尿病 (気管支喘息、 気管支喘息発作、慢性気道感染症、高コレステロール血症、高尿酸血症、脂肪肝、不眠症)	15mg 7日間	薬剤性肺障害	
				喫煙歴(投与37年前~3年前):60本/日 幼少時より、気管支喘息があり、ステロイド及び長時間作用型 刺激剤の吸入で治療を行っていた。 投与約15年前 グリベンクラミド、アカルボース投与開始。	
				投与24日前	血糖コントロール不良のため、入院。 入院時、胸部X線は正常。 食事療法開始。
				投与21日前	強化インスリン療法開始。
				投与7日前~1日前	気管支喘息発作が発現したため、ステロイドを投与。
				投与開始日	本剤投与開始。夕方より発熱(37度台)。
				投与2日目	頭痛発現。
				投与3日目	発熱、頭痛に対して、アセトアミノフェン頓服投与(5日間)。
				投与4日目	気管支喘息発作重積状態、低酸素血症を認め、プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム点滴投与。
				投与5日目	胸部X線で、両側下肺野に粒状影、好中球数増多、CRP上昇したため、気道感染症の合併も考え、セフォタキシムナトリウム投与(4日間)。
				投与6日目	胸部CTで、両側びまん性粒状影を認める。
				投与7日目(投与中止日)	マイコプラズマ抗体陽性(80倍)より、アジスロマイシン水和物投与開始。CT所見よりびまん性汎細気管支炎あるいは間質性肺炎が疑われ、本剤投与中止。喘息発作は改善。
				中止1日後	頭痛消失。プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム点滴投与から、プレドニゾン内服に変更。
				中止2日後	発熱消失。マイコプラズマ抗体の上昇はなく、喀痰細菌培養でムコイド型緑膿菌陽性と判明したが、細菌感染や気管支喘息ではCT所見は説明できず。抗生剤をセフォタキシムナトリウムからメロペネム水和物、アミカシン硫酸塩に変更。
				中止3日後	喘息発作消失。
				中止6日後	プレドニゾン減量。
				中止9日後	炎症所見が陰性となり、メロペネム水和物、アミカシン硫酸塩中止。プレドニゾン減量。
				中止11日後	プレドニゾン中止。
				中止12日後	胸部CTで、びまん性粒状影は若干減少。
				中止15日後	気管支鏡検査施行。右中葉での気管支肺胞洗浄で、総細胞数22万/mL、リンパ球数増加、肺生検で肺胞間質の炎症、肺胞壁の線維化所見があり、間質性肺障害を示唆する所見が認められた。 肉芽組織などは認めず。 リンパ球刺激試験の結果、本剤は陰性。
中止20日後	胸部CTで、びまん性粒状影は更に減少。				
中止170日後	胸部CTで、びまん性粒状影は更に減少していたが、わずかに残存。				
併用薬: アカルボース, テオフィリン, モンテルカストナトリウム, クラリスロマイシン, アトルバスタチンカルシウム水和物, インスリン, プデソニド, クロモグリク酸ナトリウム, サルブタモール硫酸塩, プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム, プレドニゾン, サルメテロールキシナホ酸塩, ソピクロン, ヘパリンナトリウム					